

## 第3回吉田高校学校運営協議会

令和4年2月19日（土）  
場所 吉田高校朝日子ホール  
午前9時30分

### 次 第

司会 數野浩司

- 1 開会の言葉（司会）
- 2 学校長あいさつ
- 3 学校運営協議会会長あいさつ
- 4 教育活動報告（教頭谷内より）【資料1 資料2】
  - ・部活動報告（関東大会、全国大会、総合的な探究の授業）  
（放送部 2年生総探作成 PRVTR 視聴 関東大会入賞作品視聴）
- 5 議事（議長 鶴田清司会長）
  - （1）第2回学校評価アンケート集計結果報告と  
令和3年度学校評価報告書の評価について （教頭 谷内より）
  - （2）令和4年度学校運営基本方針の骨格について （校長 古屋より）
  - （3）その他
- 6 連絡事項
  - （1）令和4年度学校運営協議会委員について
  - （2）令和4年度第1回学校運営協議会開催日について  
4月9．10．16．17日（土日）のいずれかを予定
  - （3）その他

閉会の言葉

#### 4 教育活動報告（教頭谷内より）

##### ・部活動報告（関東大会、全国大会）

##### ★運動部

- ウエイト 3年 梶原 健成選手  
全日本選手権 3位  
世界ジュニア選手権出場予定（5月）
- 2年 高草 公佑選手  
関東高等学校選抜ウエイトリフティング選手権  
優勝 全国選抜大会出場権獲得（3月下旬）  
（ランキング1位で出場権獲得）
- 1年 土橋寛太  
関東高等学校選抜ウエイトリフティング選手権  
6位 全国選抜大会出場権獲得（3月下旬）
- スケート部 2年 杉浦早咲選手 1年 有泉 淳選手 倉澤伸太郎選手  
全国高校総体出場、国民体育大会出場
- 弓道部 1年 渡辺竜温選手  
山梨県高校新人大会弓道競技 第2位  
全国高校弓道選抜大会出場権獲得（12月下旬出場済）  
・東日本高等学校弓道大会山梨県予選 団体第3位  
東日本高等学校弓道大会出場権獲得（3月下旬）
- 卓球部 2年 勝俣志麻選手  
全国高校選抜卓球大会出場権獲得（3月下旬開催）
- スキー部（個人参加） 1年 眞田尚斗選手  
山梨県高校総体スキー競技 大回転競技 5位  
回転競技 5位  
関東高等学校スキー選手権大会出場権獲得（中止）
- ##### ★文化部
- 囲碁部 2年 後藤京香さん  
関東地区高等学校囲碁選手権大会  
9路盤 個人戦女子 第4位  
全国高等学校囲碁選手権出場決定（3月下旬）
- 放送部 2年 神宮朱里さん  
山梨県高等学校芸術文化祭 朗読部門 芸術文化祭賞  
令和4年度全国高等学校総合文化祭東京大会出場権獲得
- 2年 中野愛子さん  
山梨県高等学校芸術文化祭 アナウンス部門 優秀賞  
令和4年度全国高等学校総合文化祭東京大会出場権獲得  
オーディオメッセージ部門 芸術文化祭賞  
タイトル 「馬いる 生まれる スマイル」  
令和4年度全国高等学校総合文化祭東京大会出場権獲得  
ビデオメッセージ部門優秀賞  
タイトル 「あゆみ～舟津先生と吉高放送部の活動記録」  
（作品視聴）  
関東地区高等学校放送コンクール出場権獲得
- ★関東地区高等学校放送コンクール（1月末開催）  
ビデオメッセージ部門 第1位

理数科2年6組Aチーム

第11回科学の甲子園 山梨大会 優勝

科学の甲子園全国大会出場権獲得 (3月下旬)



囲碁部 後藤京香さん



ウエイト部 高草公佑選手



放送部 関東大会 優勝カップ



放送部 活動の様子



放送部 活動の様子



科学の甲子園 表彰式の様子

#### 4 教育活動報告（教頭谷内より）

- ・総合的な探究の時間成果発表会について

1年生：1月26日（水）13:55～15:35 開催（オンライン配信）

2年生：2月9日（水）13:55～15:35 開催（オンライン配信）

（1年生はオンラインで参加：視聴）

#### 「富士山学Ⅰ」1学年全体発表会（オンライン）

本校ホームページ（吉高フォトダイアリー）より



令和4年1月26日（水）「富士山学Ⅰ」学年全体発表会が開催されました。地域の魅力を様々な角度から探ることによって、多くの人の想いと支えによって地域が成り立っていることに気づき、自分自身が地域の一員として現在の学びをどのように還元できるかを考えることがねらいです。1年生がクラスごとに「スポーツ」「観光」「国際」「街づくり」「芸術文化」「防災」の6分野のテーマの中で、各自が研究テーマを設定し、個人探究活動を行ってきました。今回はクラス内発表で選ばれた各クラスの代表2名による発表を行いました。

視聴覚教室と各教室、各自宅をオンライン(Teams)配信しました。







途中配信がうまくいかなかった場面もありましたが、代表生徒の皆さんは、臨機応変に対応してくれました。また、発表を聞いていた1年生も熱心にメモをとっていました。1年生は、吉高GPの傾聴力・想像力・思考力をフル活用しながら活動していました。「富士山学I」学年全体発表会は無事終了しました。富士山学のために地域の皆様関わって、吉高生に学びの場を提供してくださいました。関係各位の皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも吉田高校をよろしく願います。

## 野鳥と共生 するために



ジューカワ

写真:Pixabay

富士山学 601班

渡辺 萌花  
小野 藍  
佐藤 千咲  
長谷川 千鶴  
滝口 彩葉  
小林 あかり

## 山梨の特徴と野鳥

- ▽ 山梨には海がない  
→ 海洋や沿岸に住む鳥×
- ▽ 3000m級の山が多い  
→ 高山帯の鳥◎
- ▽ 草原が残されている  
→ 草原を好む鳥○
- ▽ 湖がある  
→ 水鳥○特に冬は多い
- ▽ 湖、森、多様な標高、植物層が豊か  
→ 富士山の周りには100種類もの野鳥が



ヤマカワ



メジロ

写真:Pixabay

## 野鳥への悪影響

1. 人の手による生息地の消失
  - ・森林伐採
  - ・人工物や市街地  
(それらを利用する鳥が訪れるが本来いた鳥がいなくなる)

巣箱を設置することで、  
野鳥の繁殖を助ける  
ことができます！

2. 地球温暖化
  - ・鳥が住める標高が高くなる  
→ 別の地へ移動することも

▽使われ終わった鳥の巣  
プラスチックが所々見える。

3. プラスチックゴミ
  - ・巣材として活用されてしまう  
→ 軽い、キラキラしている、丈夫なため

しかし…

ヒナが絡まると、丈夫なため親鳥  
がちぎってあげることができない  
→ 足がちぎれて死んでしまうことも



葉提供:富士山アウトドアミュージアム

## つくってみよう！ 巣箱の作り方

### 1. 材料を用意する



入って欲しい鳥の  
種類で、穴の大きさ、  
高さが異なるよ！

### 2. 穴を開ける



### 3. 穴をやすりで整えて、 紐を通す

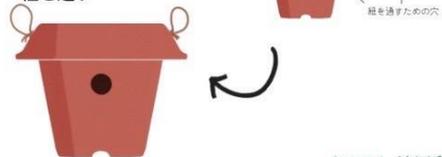


イラスト:滝口彩葉

令和3年度 (1)月実施学校評価アンケート質問項目(全学年達成率一覧)

■回答人数:1年:231 2年:222 3年:241  
 ■達成率=(大いに思う)+(ほぼそう思う)

数字の単位は%

問題番号	項目	質問項目	7月項目別達成率平均	項目別達成率平均	達成率平均	1年	2年	3年	概況
									項目別達成率平均は前回7月よりすべてにおいて下降している。
1	生徒の知識活用力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	82.8	81.7	80.5	82.7	82.4	76.3	全体的には高い達成率である。授業・学習に自らまじめに取り組み、知識・技能、思考力・判断力・表現力を高め、学びに積極的な姿勢であることを表す結果である。 しかし、その一方で授業が楽しいと感じる生徒の数が、他の項目に反映されていない。生徒が授業が楽しくないと感じるにもかかわらず学習に真摯に取り組んでいるという学習に真摯に取り組む集団である
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。			90.0	90.4	94.6	85.0	
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。			69.3	65.8	77.0	65.1	
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。			86.8	86.1	85.1	89.3	
5	生徒の主体性を高める	私は、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)	84.1	81.3	71.1	83.9	72.9	56.4	3年生の学習と部活動の両立に関する質問事項の達成率が低い理由は部活動から一線を画し、進路実現に宣戦しているためだと判断する。質問の提示方法を検討する必要がある項目である。 項目全体としては高い達成率である。特に「自分の言動には責任を持って行動している」はほぼ全員が達成できているという状況である。
6		私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。			79.6	82.7	73.5	82.6	
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。			93.4	93.9	92.4	93.8	
8	人のかかわりの中での生き生きとした生活	新:地域の話題や課題などに興味を持って生活している。	74.4	71.8	58.3	57.6	56.8	60.6	項目全体として、最も達成率が低くなっている。 問題8は前回と同様3学年とも最も低い達成率であった。 問題9は達成率は高く、学校生活にある行事、活動であるから積極的になることがスムーズにできている。 質問10、さほど達成率ではなく、SDGsを意識できていたとしても、ボランティアという行動に移れていない。
9		旧:私は、地域の人々との関わりを意識して生活している。			86.5	85.2	89.2	85	
10		私は、生徒会行事に積極的に取り組んでいる。			70.5	71.9	68.4	71.3	
11	その他	吉田高校では、各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	79.9	74.6	74.6	73.2	78.0	72.6	情報提供をこれまで通り行っているが、生徒に反映されていないようである。 節電・節水を実践していると答えているが、時々、教室の電気の消し忘れがある。
12		私は、校内で節電・節水を実践している。			84.0	86.9	81.3		
13	吉高GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(8つの力)について、高校生活の中で総合的に向上した。	91.0	91.4	91.4	90.0	92.8	91.3	吉高GPへの意識は日常的に持っている。定着している

達成率:70%未満の項目

令和3年度 (1)月実施学校評価アンケート質問項目(1学年生徒対象)

「大いに思う」場合には「0」「ほぼ思う」場合には「1」  
 「あまりそう思わない」場合には「2」「全くそう思わない」場合には「3」

■回答人数:1月: 231名  
 ■達成率=(大いに思う)+(ほぼ思う)

数字の単位は%

問題番号	項目	質問項目	項目別達成率平均	0	1	2	3	R4 1月	比 R4 1月	過年度学年比較	比 R4 1月	前回比較
								達成率	↑	R2年度1学年	↑	R3
								(0+1)	↓	1月	↓	7月
1	生徒の知識活用力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	81.3	19.9	62.8	16.9	0.4	82.7	↓	88.7		83.6
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。		33.3	57.1	8.1	0.4	90.4	↓	96.2		92.3
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。		16.0	49.8	32.9	1.3	65.8	↓	84.1	↓	76.2
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。		24.2	61.9	13.9	0.0	86.1		86.2	↓	89.2
5	生徒の主体性を高める	私は、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)	86.8	40.4	43.5	10.0	1.3	83.9	↑	79.1	↓	89.8
6		私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。		22.1	60.6	16.5	0.9	82.7		83.2		82.8
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。		41.1	52.8	5.6	0.4	93.9		94.1		92.3
8	と人との関わりを深める	新: 地域の話題や課題などに興味を持って生活している。	71.6	15.2	42.4	39.8	2.6	57.6		57.7	↓	60.8
9		旧: 私は、地域の人々との関わりを意識して生活している。		40.0	45.2	12.8	2.2	85.2		86.6	↓	92.2
10	私は、SDGsについて学ぶとともに、以前よりボランティアについて意識し、行動できるようになった。	21.7	50.2	25.4	2.6	71.9	↓	77.8		71.6		
11	その他	吉田高校では、各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	78.6	23.8	49.4	23.4	3.5	73.2	↓	78.2		73.7
12		私は、校内で節電・節水を実践している。		39.0	45.0	14.7	1.3	84.0	↓	87.9		84.9
13	吉高GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(8つの力)について、高校生活の中で総合的に向上した。	90.0	29.9	60.1	10.0	0.0	90.0	↓	93.7		91.0

↑ ↓ : 2ポイント以上の差がある場合に記入

達成率: 70%未満の項目

5ポイント以上の差がある

概況

- ・過年度比較、前回比較を行うと数値的には下降している質問項目が多いが、全体的には高い達成率である。
- ・項目の上から2番目「生徒の主体性を高める」は高水準を維持している。
- ・注目すべき点は質問番号3「私は、授業が楽しいと感じることが多い。」が極端に低下しているところである。

総評と分析

夏休み前後の分散登校のため十分な指導ができないままの文理選択や、コロナ禍で社会全体の状況が好転していない中での進路選択のため、生徒自身が進路に向けての意識が高まっていない現状がある。そのため、日々の学習が進路に直結しているという意識が持ちにくいことが評価の要因であると思われる。しかし、そのことも踏まえたうえでの授業改善が教員側にも求められていることも意識しなければならない。

富士山学で地域探究を行っているのだが、コロナ禍で十分な取り組みができないためこのような評価につながったのではないと思われる。小中学校でも富士山学を取り扱っているところも多く、吉田高校としての探究活動の在り方については学年や分掌だけではなく学校全体で取り組む必要がある。

令和3年度（1）月実施学校評価アンケート質問項目（2学年生徒対象）

「大いに思う」場合には「0」「ほぼ思う」場合には「1」「あまり思うわない」場合には「2」「全く思うわない」場合には「3」

■回答人数:1月:222名  
■達成率=(大いに思う)+(ほぼ思う)

数字の単位は%

問題番号	項目	質問項目	項目別達成率平均	0	1	2	3	R4 1月	比 R4 1月	過年度学年比較	比 R4 1月	前回比較	比 R4 1月	1年前比較
								達成率	↑	R2度2学年	↑	R3	↑	R3
								(0+1)	↓	1月	↓	7月	↓	1月
1	生徒の知識活用力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	84.8	17.1	65.3	16.7	0.9	82.4	↑	77.7	↑	78.9	↓	88.9
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。		34.2	60.4	4.5	0.9	94.6	↑	83.1		95.3	↓	97.4
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。		16.2	60.8	20.3	2.7	77.0	↑	60.5		78.5	↓	84.3
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。		20.7	64.4	14.0	0.9	85.1	↑	77.2		83.6	↓	87.3
5	生徒の主体性を高める	私は、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)	79.6	29.9	43.0	18.1	1.8	72.9		73.5	↓	83.6	↓	80.4
6		私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。		20.3	53.2	25.7	0.9	73.5	↓	80.0	↓	83.6	↓	88.1
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。		32.9	59.5	7.7	0.0	92.4	↑	89.9		92.2	↓	94.4
8	こ人とのなかを自覚させるの中で生きていく	新:地域の話題や課題などに興味を持って生活している。	71.5	17.6	39.2	37.8	5.4	56.8	↑	50.7	↓	62.1	↓	69.4
		旧:私は、地域の人々との関わりを意識して生活している。												
9		私は、生徒会行事に積極的に取り組んでいる。		42.3	46.9	9.0	1.8	89.2	↑	83.2		88.0	↓	92.3
10		私は、SDGsについて学ぶとともに、以前よりボランティアについて意識し、行動できるようになった。		25.2	43.2	28.8	2.7	68.4		67.5	↓	77.6		69.4
11	その他	吉田高校では、各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	82.5	24.8	53.2	20.3	1.8	78.0	↑	71.7		77.5	↓	86.3
12		私は、校内で節電・節水を実践している。		42.3	44.6	12.2	0.9	86.9	↑	82.6		86.7	↓	89.8
13	吉高GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(8つの力)について、高校生活の中で総合的に向上した。	90.0	29.3	63.5	5.9	1.4	92.8	↑	88.1		93.5		91.5

達成率:70%未満の項目

↑:2ポイント以上の差がある場合に記入

5ポイント以上の差がある

## 概況

- ・過年度比較においては、各質問においてポイントは向上しているが、過去回比較を行うと数位的には下降している質問項目が多いが、全体的には高い達成率である。
- ・質問番号3「私は、授業が楽しいと感じることが多い。」が3学年の中で最も高くポイント的には高い極端に低下しているところである。
- ・質問番号5「私は、学習と部活動の両立に努めている。(いた)」が過去回比較に大きく低下している。

## 総評と分析

生徒の低評価の原因の主だったものは、「活動と評価の対象が一致していない」というのではない。

本校のカリキュラム上、地域の一員であること意識し、「より良く生きていくために自分たちに何ができるか」を考える最も良い機会は「総合的な探究の時間」(富士山学)である。特に2年生の活動においては、外部(地域)とのつながりの中で探究を進めていくための綿密な計画がなされていると認識している。

今年度はグループによる探究活動を行った。各々でテーマを設定し、調査やアンケート、施設等への訪問をし、その筋の専門家にお話を聞いたり、集めたデータを分析したりすることで、地域の諸問題や今後の課題が見えてきたことと思う。生徒が主体的に行った活動の中でも際立ったものの例を挙げると、地元のコミュニティーFMの生放送への出演や、県庁の方を学校にお招きして行っていただいた特別講座などがある。どちらも生徒自らが企画し、アポを取り、実施へとこぎつけたものである。

コロナ禍で特に夏休みの活動が制限されたことはあるが、生徒が行ってきた諸活動に対しては、もっと高評価をしても良いのではないかとというのが正直なところである。今後の展望としては、このような活動が地域への参画の第一歩になっており、上手くいけば地元の活性化に一翼を担えるのだという意識を涵養していくことだと思う。

令和3年度（1）月実施学校評価アンケート質問項目(3学年生徒対象)

「大いにそう思う」場合には「0」「ほぼそう思う」場合には「1」  
 「あまりそう思わない」場合には「2」「全くそう思わない」場合には「3」

■回答人数:1月:241名  
 ■達成率=(大いに思う)+(ほぼそう思う)

数字の単位は%

問題番号	項目	質問項目	項目別達成率平均	0	1	2	3	R4 1月	比 R4 1月	過年度学年比較	比 R4 1月	前回比較	比 R4 1月	1年前比較
								達成率	↑	R2度3学年	↑	3年時 R3	↑	2年時
								(0+1)	↓	1月	↓	R3 7月	↓	R3 1月
1	生徒の知識活用力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識して生活している。	78.9	19.9	56.4	21.6	2.1	76.3	↓	80.5		76.4		77.7
2		吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。		23.2	61.8	14.5	0.4	85.0	↓	89.3	↑	84.9		83.1
3		私は、授業が楽しいと感じることが多い。		14.1	51.0	33.2	1.7	65.1	↓	83.7	↓	69.8	↑	60.5
4		私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。		29.5	59.8	10.8	0.0	89.3	↓	92.8	↑	84.5	↑	77.2
5	生徒の主体性を高める	私は、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)	77.6	22.0	34.4	7.1	0.8	56.4	↓	72.8	↓	65.9	↓	73.5
6		私は、身の回りに存在する課題に対して、意欲的に行動している。		22.0	60.6	17.0	0.4	82.6	↓	86.9	↑	77.6	↑	80
7		私は、自分の言動に責任を持って行動している。		34.2	59.6	5.9	0.4	93.8	↑	90.8	↑	88.8	↑	89.9
8	と人との関わりを深め、自分自身を成長させること	新:地域の話題や課題などに興味を持って生活している。	72.3	17.0	43.6	34.9	4.6	60.6	↓	69.3	↓	62.8	↑	50.7
9		旧:私は、地域の人々との関わりを意識して生活している。		34.4	50.6	13.3	1.7	85.0		85.3		86.4		83.2
10		私は、生徒会行事に積極的に取り組んでいる。		18.8	52.5	24.2	4.6	71.3		72.1	↑	67.8	↑	67.5
11	その他	吉田高校では、各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	77.0	23.8	48.8	22.1	5.4	72.6	↓	82.1		73.2		71.7
12		私は、校内で節電・節水を実践している。		30.3	51.0	17.4	1.2	81.3	↓	88.8	↓	83.3		82.6
13	吉高GP	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(8つの力)について、高校生活の中で総合的に向上した。	90.0	30.3	61.0	7.5	1.2	91.3		90.9	↑	88.4	↑	88.1

↑ ↓ :2ポイント以上の差がある場合に記入

達成率:70%未満の項目

5ポイント以上の差がある

概況

- ・過年度比較においては、各質問においてポイントは下降しているが、過去回比較を行うと数値的には上昇している質問項目が多いが、全体的には高い達成率である。
- ・質問番号3「私は、授業が楽しいと感じることが多い。」が達成率が受験生の心情を表すかのように低い。
- ・質問番号4「私は、授業で感じた疑問を自ら調べようとしている。」が過去回比較にすると、受験期に入ることにより、大きく上昇している。

全体的に自己評価は厳しめだったが、教員側から評価すると授業への取り組み方も悪くはなく、それぞれの目標に向かってよく努力していたと感じる。ただ、オンライン授業や分散登校などにより不安はあったらと思う。また、周りとの交流も禁止されたりする中で人とのかわりにはほぼ思い通りにはならなかった。しかし、主体性を高めるための取り組みとしては各行事では最高学年としての自覚を持って取り組むことを意識させ、1、2年時に経験したことをさらに進化させるよう求めた。その結果、コロナ禍の中において実施方法など難しい局面においても主体的に取り組む行事を成功させることができたと感じている。

令和3年度 学校評価アンケート(保護者対象)

■回答人数：516名

「大いに思う」＝「0」「ほぼ思う」＝「1」  
 「あまりそう思わない」＝「2」「全くそう思わない」＝「3」

■達成率=(大いに思う) + (ほぼ思う) %

問題番号	質問項目	0	1	2	3	達成率 (0+1)	↑ ↓	前年度
1	吉田高校では、生徒に考えさせ、生徒が主体的に学ぶ授業がおこなわれている。	19.8	74.2	5.8	0.2	94.0	↑	91.9
2	吉田高校は、生徒一人ひとりを理解し、大切にしている。	16.9	72.5	10.2	0.4	89.4		88.4
3	私の子どもは、睡眠時間の確保など、健康の保持・増進に努めている。	13.1	50.0	32.7	4.2	63.1	↓	68.1
4	私の子どもは学習時間記録表などを活用して、計画的に行動している。	9.4	46.7	38.3	5.6	56.1		57.4
5	吉田高校では、他の人の置かれた立場や状況を理解しようと努め、それに応じて話したり振る舞うことを指導している。	12.9	73.5	12.9	0.8	86.4		88.0
6	吉田高校では、授業や特別教育活動を通して社会に目を向け、自分との関わりを考えさせるような工夫や配慮がなされている。	15.6	72.6	11.6	0.2	88.2	↑	85.4
7	私の子どもは、自分の進路に関心を持ち、将来の職業や生き方について考えるように努めている。	26.8	55.5	15.6	2.1	82.3		82.7
8	私の子どもは、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)(部活動に加入していない場合は「7」にマーク)	34.9	45.3	2.1	9.3	80.2	↓	88.8
9	吉田高校では、SDGsについての学びを深める学習活動に取り組んでいる。	12.0	66.5	20.8	0.8	78.5	↑	67.2
10	吉田高校では、各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。	25.1	67.1	7.5	0.4	92.2	↑	83.5
11	私は、学校の教育方針を理解している。	11.4	77.6	11.0	0.0	89.0		88.7
吉田高校では、吉田高校グラデュエーション・ポリシーの8つの力について向上を図っていますが、お子さんは、それぞれの力が高校生活の中で向上したと思いますか。								
12	① 自己肯定力 … 短所も含めて、自分を認める力	12.9	68.2	17.8	1.2	81.1	↓	84.8
13	② 傾聴力 … 他者の意見を謙虚に聴く習慣	15.2	68.6	15.2	1.0	83.8		85.4
14	③ 分析力 … 事実を客観的に分析する習慣	13.1	68.0	18.1	0.8	81.1		83.2
15	④ 思考力 … 物事を鵜呑みにせず、「何か」を考える習慣	13.9	63.4	22.2	0.6	77.3	↓	82.6
16	⑤ 発信力 … 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法	11.4	58.0	29.1	1.5	69.4		67.7
17	⑥ 想像力 … 未来(結果)を考え、想像する力	12.2	65.3	21.2	1.4	77.5		77.8
18	⑦ 創造力 … 課題を解決する方法を創造する力	10.2	64.6	24.5	0.8	74.8	↓	79.3
19	⑧ 行動力 … 自身の考えに基づき、行動する力	13.1	65.6	19.9	1.4	78.7		78.7

概況

- ・過年度比較においては、概ね同水準のポイントを得ている。さらに全体的には高い達成率である。
- ・質問番号3「私の子どもは、睡眠時間の確保など、健康の保持・増進に努めている。」と質問番号4「私の子どもは学習時間記録表などを活用して、計画的に行動している。」が過年度によると、ポイントが下降し、達成率も他の質問項目より大きく低い。
- ・質問項目8「私の子どもは、学習と部活動の両立に努めている。(いた。)」も質問番号4「私の子どもは学習時間記録表などを活用して、計画的に行動している。」と連動するように前年より大きく達成率を落としている。
- ・吉高GP関係では「思考力」の達成率が5ポイント以上下降し、「発信力」については達成率が7割に満たなかった。しかし、発信力においては昨年度よりも保護者の評価が少し上昇している。

令和3年度(1)月実施学校評価アンケート質問項目(教職員対象)

「大いに思う」=「0」「ほぼ思う」=「1」

■回答人数:1月:49名

「あまり思わない」=「2」「全く思わない」=「3」

■達成率=(大いに思う)+(ほぼ思う)

問題番号	項目	質問項目	項目別達成率平均	0	1	2	3	R4 1月	比 R4 1月	過年度比較	比 R4 1月	前回比較
								達成率	↑	R2度	↑	R3
								(0+1)	↓	1月	↓	7月
1	生徒の知識活用能力を高める	私は、吉田高校グラデュエーション・ポリシーを常に意識している。	94.4	12.2	77.6	10.2	0.0	89.8		87.3	↑	85.5
2		私は、生徒が主体的に参加する授業を実施している。		8.2	81.6	10.2	0.0	89.8	↑	86.9	↑	83.6
3		吉田高校は、生徒評価を適切に行っている。		10.2	87.8	2.0	0.0	98.0	↑	93.6	↑	90.9
4		私は、自分の授業を反省し、次の授業に反映できるように努めている。		24.5	75.5	0.0	0.0	100.0	-	100.0	↑	89.1
5	生徒の主体性を高める	吉田高校では、すべての活動に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会を増やしている。	75.6	8.2	69.4	22.5	0.0	77.6	↓	78.7	↑	74.5
6		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」機会をつくっている。		8.2	69.4	22.5	0.0	77.6	↑	70.2	↑	74.6
7		吉田高校では、生徒自ら行動する態度を養っている。		6.2	65.3	28.6	0.0	71.5	↑	63.8	↓	74.5
8	人々の生活のなかで自覚させること	吉田高校では、生徒に、80年の伝統を受け継ぐ一人ひとりであることを様々な行事を通じて学ばせている。	78.4	8.2	51.0	36.7	4.1	59.2		57.5	↑	56.4
9		(新設)吉田高校では、生徒に地域と関わり持つ機会を与え、地域の話題や課題を意識させるように指導している。		18.4	67.4	12.2	2.0	85.8	↑	78.8	↑	83.7
10		吉田高校では生徒が他者を思いやり健全な人間関係を築くことができるように指導している。		8.2	77.6	12.2	2.0	85.8	↑	72.3	↑	72.7
11		吉田高校では、SDGsへの学びを深めさせ、ボランティア精神を養っている。		14.2	57.1	28.6	0.0	71.3	↓	83.0	↑	63.6
12		吉田高校では各種の「たより」やホームページで積極的に情報を提供している。		18.40	71.4	10.2	0.0	89.8	↑	49.0	↑	80.0
13	その他	吉田高校では校内で節電・節水を実践している。		6.1	46.9	42.9	4.1	53.0	↑	49.0	↑	49.1
14~21		吉田高校グラデュエーション・ポリシーの8つの力について、それぞれ高校生活の中で生徒は、向上しましたか。										
14	吉高GP	① 自己肯定力 … 短所も含めて、自分を認める力	82.1	6.1	67.4	26.5	0.0	73.5	↑	66.0	↑	65.4
15		② 傾聴力 … 他者の意見を謙虚に聴く習慣		12.2	67.4	18.4	2.0	79.6		80.9	↑	76.4
16		③ 分析力 … 事実を客観的に分析する習慣		8.2	83.4	8.2	0.0	91.6	↑	72.3	↑	72.8
17		④ 思考力 … 物事を鵜呑みにせず、「何故か」を考える習慣		4.1	75.1	20.4	0.0	79.2	↑	76.6	↑	70.9
18		⑤ 発信力 … 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法		8.2	79.6	10.2	2.0	87.8	↑	72.3	↑	70.9
19		⑥ 想像力 … 未来(結果)を考え、想像する力		4.1	73.5	20.4	2.0	77.6	↑	72.4	↑	60.0
20		⑦ 創造力 … 課題を解決する方法を創造する力		4.1	79.6	16.3	0.0	83.7		72.4	↑	71.0
21		⑧ 行動力 … 自身の考えに基づき、行動する力		8.2	75.5	16.3	0.0	83.7	↑	74.5	↑	71.0
		働き方改革を踏まえて業務の見直しを図れましたか										
22	働き方改革	担当業務について、分業や協業を行っている。	68.4	2.0	63.3	28.6	6.1	65.3			↑	54.6
23		ワークライフバランスを図るために、各自ができる具体的方策をとっている。(ICTの活用、定時退校の実践等)		4.1	67.4	28.6	0.0	71.5			↑	47.3

達成率:70%未満の項目

↑:2ポイント以上の差がある場合に記入

5ポイント以上の差がある

概況

・過去回比較によると、全体的に達成率は向上している。高い達成率である。  
 ・質問番号8「吉田高校では、生徒に、80年の伝統を受け継ぐ一人ひとりであることを様々な行事を通じて学ばせている。」と質問番号13「吉田高校では校内で節電・節水を実践している。」、質問番号22「担当業務について、分業や協業を行っている。」の達成率は大きく70%を下回っている。  
 しかし、質問項目8、13はわずかながらであるが、ポイントは向上し、質問番号22においては10ポイント以上、達成率を上げている。

# 令和3年度 山梨県立吉田高等学校 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことが出来る生徒を育成する
-----------	--

山梨県立吉田高等学校 校長 古屋 勇 人

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める
	2 生徒の主体性を高める
	3 人とかかわりの中で生きていることを自覚させる
	4 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			年度末評価(2月14日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	生徒の知識活用能力を高める	※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等
		評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等
		授業と連動した課題を設定し、知識の活用定着を図る。	外部アンケート等
2	生徒の主体性を高める	常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等
		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等

学校関係者評価	
実施日 (令和4年2月19日)	
評価	意見・要望等

自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
<p>・本校のスクールポリシー(吉高GP)に対する保護者の理解度は達成率89%と高い評価を得ている。職員の90%もスクールポリシーを意識して生徒への指導を行っている。しかし生徒に関しては保護者・職員よりも低い達成率(80.5%)である。一方で90%以上の生徒はスクールポリシーの8つの力の伸長を感じ、意識せずとも8つの力の成長を感じていることが伺える。</p> <p>・授業に関して、生徒が主体的に参加できる授業を実施している教員の割合が90%を越えて、同様に90%の生徒も主体的に授業に参加しているが、「授業の楽しさ」を感じている割合69%と低く、「楽しさ」を感じさせる指導の工夫が必要であることを表している。</p> <p>・生徒評価に対する教員の達成度は98.0%と高い。一方で、生徒が学習を楽しんでいる割合は、全学年で69.3%である。教員の評価自体は正しく行われているが、生徒の授業への満足度は低く、評価の方法と授業への満足度(楽しさ)を結びつけるための改善が必要であることを示している。</p> <p>・授業に対して楽しいと感じる生徒の割合が3年生を除いて低下が顕著である。これは分散登校でのリモートによって、個々の通信環境から授業内容を理解しにくい状況ができてしまっていることが大きな要因だと考えられる。しかし授業で生じた疑問を自ら解決しようとする意識は高いことから、授業の在り方を工夫していくことが必要である。</p>	A	<p>成果</p> <p>・生徒の知識活用能力を高めるという点では昨年度比からは低下しているが全般的に高い水準の達成率である。授業が楽しいという部分の達成率は十分とは言えない。知識活用能力を伸ばすよう、学びに対しては主体的、能動的であった。</p> <p>課題・改善策</p> <p>・生徒が主体的だと感じる授業改善を今後も継続して行うために、カリキュラムマネジメント委員会を通じ、教科横断的な視点から情報の共有を図り、授業の楽しさにつなげる対策を図っていく。</p> <p>・対面する機会が減っていく状況下で生徒たちに吉高GPへの意識付けを維持していく方法を考え、実践していく。</p> <p>・令和4年度入学生より観点別評価導入に伴い、全学年を対象として、生徒の良さを評価する評価を引き続き適切に行っていきたい。また、学習内容の難易度にかかわらず、教科の魅力や伝えながら、学習に対する関心を高め、達成感や結果の向上を生徒自らが感じられることによって自己効用感、自己肯定感の高揚につなげていく。</p> <p>・生徒たちの学習に関する疑問点を自ら解消しようとする姿勢といった学びへの主体性を生徒に対して明確に評価する方法を考え、実践することで授業の楽しさにつなげる。</p> <p>・リモート授業はこれからも続くことと予想できることから、個々の通信環境の格差を考慮しながら、授業改善を各教科を中心に考えていかなければいけない。また、対面・リモートそれぞれのメリットを考えて、適した授業を展開していく必要がある。対面に限らず、授業進度と連動した課題の内容の提示や生徒自身が考える時間を与える工夫も行い、自立した学習者の育成を実践していく。</p>
<p>*1学年 教科の授業や総合的な探究の時間を通じて、生徒が主体的に学ぶ機会は十分に設定され、生徒の項目の達成率は86.8%と高い。しかし、創造力・発信力の部分について顕著に形として表れておらず、1年間の探究活動の成果物に関しては全体的に物足りなさを感じているものであった。生徒は部活動との両立に関しては全校で最も高い83.9%の達成率であった。</p> <p>*2学年 年度当初より、進路研究の一環として「外」へ視点を向ける指導をしている。勉強と部活動の両立に加え、資格試験、各種コンテスト・発表会、インターンシップ(体験活動)、大学のオープンキャンパス、ボランティア活動等に積極的に参加し、活躍の場を学校の外へと広げる呼びかけを随時行ってきた。また、修学旅行を実施するにあたり、相手の立場になり、その場その場で【相応しい行動】とはどのようなものかを常に問いかけ、想像力の涵養に注力した。その結果、達成率79.6%と結果となり十分に生徒は主体性を高めることができた自己評価を行っている。</p> <p>*3学年 主体性を高めるための取り組みとしては各行事では最高学年としての自覚を持って取り組むことを意識させ、1、2年時に経験したことをさらに進化させるよう求めた。その結果、コロナ禍の中において学園祭などの生徒会行事、部活動の実施方法など難しい局面においても主体的に取組み、成功させることができたことが77.8%という数値に表れている。</p>	A	<p>成果</p> <p>学習と部活動の両立という点では、行動制限がかかる中で、学年を迫るにつれて達成率は低くなっているが、自分に対する課題への取組や自己の言動への責任感という点では高い達成率を維持している。概ね、生徒の主体性を高めることができている。</p> <p>*1学年 課題・改善策 教科・総合・LHR・学校行事・部活動に対するカリキュラムマネジメントを一層推進し、生徒一人一人の主体的な活動に対して、教員が関わり支援する体制の構築が必要である。特に「分析し、思考し、創造し、発信する」「傾聴し、想像を共有し、行動する」という部分を伸ばせる指導を行い、形としてoutputできることを重視していく。</p> <p>*2学年 課題・改善策 ・部活動を始める際の諸活動において、何かアクションを起こそうとするとその矢先、感染症拡大による活動制限がかり、もどかしい思いをしている生徒が大半だと思ふ。高校生活最後の1年を迎えるにあたり、環境やその時の状況を悔やんだり憂いたりするのではなく、「その中で出来る最高を目指す」修正力、打たれ強い心を養う指導を行う。</p> <p>・そのために、一番大切なことは、評価の数値にとらわれすぎることではなく、思ったことや感じたことを、我々職員がその都度躊躇せずに、職員が自分の言葉で訴えていく。</p> <p>*全体 課題・改善策 問題番号5の達成率の向上を図る意識付けと実践に向けて指導法を構築し、実践する。</p>

自 己 評 価			
本年度の重点目標			年度末評価(2月14日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
3	人とのかかわりの中で生きていることを自覚させる	周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等
		社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等
		ユネスコスクールへの加盟申請を契機とし、SDGsを意識させるとともに、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等
4	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	生徒と触れ合う機会を増やすためにも、業務全体を見直し、分業と協業を推進する。	外部アンケート等

※1) 吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP) … 本校3年間を通して8つの力(自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力)を身につけること。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者評価	
実施日 (令和4年2月19日)	
評価	意見・要望等